



Growing Together
ともに挑む。

証券コード 8074
決算説明会資料

2020年3月期 決算説明会



ユアサ商事株式会社

連結損益計算書の概要

■ 1Q～3Q

- ・オリンピック2020の特需による住設・管材・空調、建築・エクステリア部門の業績好調
- ・米中貿易摩擦の影響で産業機器、工業機械部門の業績は低調に推移

■ 4Q

- ・新型コロナウイルスの影響により、業績が減速

セグメント	2019年3月期	2020年3月期			増減率 [前年4Q比較]
	前期実績	2/4業績予想 の修正開示	通期実績	増減率 [通期比較]	
売上高	4,936	5,000	4,913	▲0.5%	▲5.5%
売上総利益	477	479	470	▲1.3%	▲5.9%
率	9.66%	9.58%	9.58%	▲0.08 ^ポ ｲﾝﾄ	▲0.05 ^ポ ｲﾝﾄ
販売費及び一般管理費	351	353	352	+0.1%	▲1.0%
営業利益	125	126	118	▲5.2%	▲17.6%
率	2.54%	2.52%	2.42%	▲0.12 ^ポ ｲﾝﾄ	▲0.37 ^ポ ｲﾝﾄ
経常利益	134	135	128	▲4.7%	▲17.9%
率	2.72%	2.70%	2.61%	▲0.11 ^ポ ｲﾝﾄ	▲0.41 ^ポ ｲﾝﾄ
親会社株主に帰属する 当期純利益	90	91	89	▲1.0%	▲15.1%

単位：億円（未満切り捨て）

セグメント別 売上高

セグメント	2019年3月期		2020年3月期			主な増減要因
	前期実績	通期計画	通期実績	増減率 [通期比較]	増減率 [前年4Q比較]	
産業機器	730	737	700	▲4.1%	+1.5%	【市場】 食品関連産業を中心に工場稼働率が堅調に推移。第2四半期以降、自動車関連産業の需要が急減。 【取組】 当社ECサイト「Growing Navi」に対応した在庫アイテムの拡充や物流サービスの向上、工場向けセキュリティ商品などの新商品拡販。
工業機械	1,305	1,331	1,224	▲6.2%	▲16.4%	【市場】 国内：自動車・半導体・電機・建設機械を含む様々な業種で慎重な動きが見られる中、コロナウイルスの影響により厳しい受注環境。5G関連の工作機械需要は増加。 海外：国内同様、設備投資抑制の影響。インド、インドネシア、台湾での二輪車関連産業設備投資は堅調。 【取組】 無人化・省人化を図るロボットの拡販、東南アジアを中心に現地資本企業の新規開拓。
住設・管材・空調	1,521	1,531	1,624	+6.8%	+0.1%	【市場】 新設住宅着工戸数の減少や消費税増税の反動の影響。東京オリンピック・パラリンピック関連の納入がピークを迎え堅調に推移。 【取組】 省エネ性能の高い空調機器や管材機器、蓄電池・パワーコンディショナなどの周辺機器の拡販、余剰電力買取パッケージ「ユアプレミアム」の推進。
建築・エクステリア	562	576	582	+3.6%	▲0.3%	【市場】 都市部を中心に再開発事業向けの金属建材需要や商業・物流施設向けの景観エクステリア需要が堅調に推移。災害復旧・復興需要や防災・減災需要によるフェンス・ガードレールなどのインフラ関連商材の販売が伸長。 【取組】 ブロック塀倒壊問題に対するフェンスの掛替提案、レジリエンス製品の拡販、宅配ボックスの販売に注力。
建設機械	343	351	372	+8.5%	▲1.1%	【市場】 インフラ整備、災害復旧・復興工事などの公共工事や都市部を中心とした再開発事業向けの建設機械需要が伸長。 【取組】 国内：屋内向け高所作業車や小型機器の拡販。 海外：東南アジア向け油圧ショベル、高所作業車の販売に注力。
エネルギー	234	235	205	▲12.2%	▲11.7%	【市場】 ガソリン・灯油の需要が低調に推移。 【取組】 ガソリン・軽油の拡販、カーケアサービスの強化。
その他	238	239	203	▲14.9%	▲18.2%	・消費財事業：季節家電の販売が暖冬の影響により低調に推移。 ・木材事業：フロア資材・住宅用輸入製材の販売は堅調に推移。 合板、梱包材は産地におけるコスト上昇と国内市場の荷動き停滞。
合計	4,936	5,000	4,913	▲0.5%	▲5.5%	単位：億円（未満切り捨て）

連結貸借対照表

・新型コロナウイルス感染症に伴う4Qの景気低迷により、売上債権・仕入債務が減少。

また、株式市場の下落により、投資有価証券の評価差額が減少。

・富士クオリティハウスと高千穂をM&Aしたことで、固定資産(のれん)が増加。

科目	2019年3月期	2020年3月期		主な増減要因
	通期実績	通期実績	増減額	
流動資産	2,078	1,974	▲104	<u>売上債権：▲156</u> 、現預金：+69
固定資産	398	396	▲2	<u>投資有価証券：▲19</u> 、 <u>のれん：+15</u>
資産合計	2,477	2,370	▲106	
流動負債	1,647	1,498	▲149	<u>仕入債務：▲151</u>
固定負債	58	61	+3	
純資産	771	810	+39	当期純利益：+89、配当：▲33
負債・純資産合計	2,477	2,370	▲106	
自己資本比率	30.9%	34.0%	+3.1%	

単位：億円（未満切り捨て）

連結キャッシュ・フローの状況

項目	2019年3月期	2020年3月期	主要因
	通期実績	通期実績	
営業活動によるキャッシュ・フロー	43	129	税引前当期純利益: +132 法人税の支払: ▲46 売買立替の良化: +15
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲8	▲28	M&Aによる株式取得: ▲24
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲31	▲35	配当金の支払: ▲33
現金及び現金同等物の増減額	2	66	
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1	—	
現金及び現金同等物の期末残高	366	432	

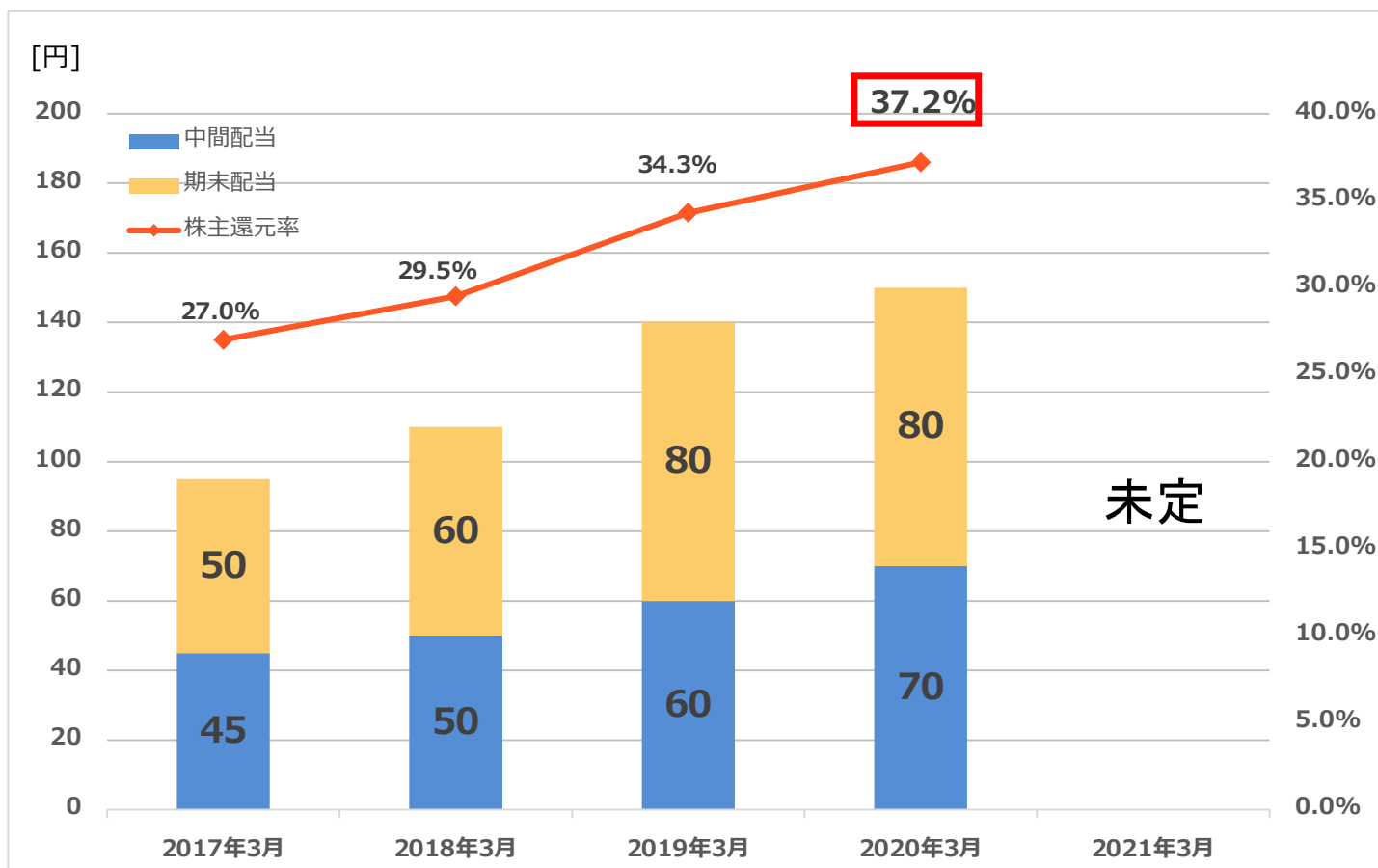
単位：億円（未満切り捨て）

連結業績計画

新型コロナウイルス感染症の影響により現時点で見通しを立てることが困難であることから、未定とさせていただきます。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに開示させていただきます。

配当金・株主還元率の推移

- 配当金 : 150円 (2020年3月期)
- 株主還元率 : 37.2% (2020年3月期)
⇒ 目標値の33%以上を達成





つなぐ 複合専門商社グループ



本資料に掲載された予測および将来の見通しに関する記述等は、本資料の発表日現在における入手可能な情報、一定の前提や予期に基づくものです。よって、実際の業績、結果は、経済動向、市場価格の状況、諸制度の変更など様々なリスクや不確定要素により大きく異なる結果となることがありますが、当社は、本資料の情報の利用により生じたいかなる損害に関し、一切責任を負うものではありません。また、当社は本資料に掲載された予測および将来の見通しに関する記述等について、改訂する義務を負うものではありません。